

安全データシート (SDS)

改訂日：2016年10月21日

発行日：

1. 製品及び会社情報

| | |
|---------|----------------|
| 製品名 | |
| 会社名 | 積水樹脂株式会社 石川工場 |
| ・住所 | 石川県能美市吉原釜屋町□-1 |
| ・担当部門 | 技術・開発課 |
| ・発行部門 | カスタマーズセンター |
| ・電話番号 | 0761-55-5747 |
| ・FAX 番号 | 0761-55-8260 |
| 整理番号 | B8-0311-S |

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|---------------|------------------|--------|
| 物理的及び化学的危険性 | 火薬類 | 分類対象外 |
| | 可燃性・引火性ガス | 分類対象外 |
| | 可燃性・引火性エアゾール | 分類対象外 |
| | 支燃性・酸化性ガス | 分類対象外 |
| | 高压ガス | 分類対象外 |
| | 引火性液体 | 分類対象外 |
| | 可燃性固体 | 分類できない |
| | 自己反応性化学品 | 分類できない |
| | 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| | 自然発火性固体 | 分類できない |
| | 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| | 水反応可燃性化学品 | 分類できない |
| | 酸化性液体 | 分類対象外 |
| | 酸化性固体 | 分類できない |
| | 有機過酸化物 | 分類できない |
| | 金属腐食性物質 | 分類できない |
| 人の健康に対する有害な影響 | 急性毒性（経口） | 分類できない |
| | 急性毒性（経皮） | 分類できない |
| | 急性毒性（吸入・ガス） | 分類できない |
| | 急性毒性（吸入・蒸気） | 分類できない |
| | 急性毒性（吸入・粉じん、ミスト） | 分類できない |
| | 皮膚腐食性・刺激性 | 分類できない |

| | | |
|--------------------|-------------------|--------|
| | 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 分類できない |
| | 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 分類できない |
| | 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 分類できない |
| | 特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） | 分類できない |
| | 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） | 分類できない |
| | 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | 水生環境急性有害性 | 分類できない |
| | 水生環境慢性有害性 | 分類できない |
| GHSラベル要素 | | 該当なし |
| GHS分類に該当しない他の危険有害性 | | 特になし |

3. 組成及び成分情報

| | |
|-------------|-----------|
| 単一製品・混合物の区分 | : 混合物 |
| 化学名又は一般名 | : ポリプロピレン |

| 成分名 | 含有量 (%) | CAS 番号 | 官報公示整理番号（化審法・安衛法） |
|--------------------|---------|-----------|-------------------|
| プロピレンホモポリマー | 97%以上 | 9003-07-0 | (6)-402/なし |
| 添加剤 無機充填剤(炭酸カルシウム) | 少量 | - | - |
| 添加剤 顔料 | 微量 | - | - |

P R T R法の第一種又は第二種指定化学物質：該当なし

4. 応急処置

| | |
|------------------|--|
| 吸入した場合 | 高温の溶融樹脂から発生するガスをひどく吸入した時は新鮮な空気のある場所に移ること。 咳、呼吸困難やその他の症状が出た時は、医師の手当を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | 刺激があれば石鹼で洗う。 |
| 目に入った場合 | 眼球を傷つける可能性があるため、清浄な水で十分に洗い流す。異常がある場合は医師の手当を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | 直ちに出来るだけ吐き出し、異常を感じるようであれば医師の手当を受ける。 |
| 予想される急性症状及び遅発性症状 | 特になし |
| 応急処置をする者の保護 | 特になし |
| 医師に対する特別注意事項 | 特になし |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|--|
| 消火剤 | 水、泡沫消火剤(エアフォーム)、泡沫消火剤等を用いることが出来るが、水は冷却効果が大いなので水を使用することが望ましい。 |
| 使ってはならない消火剤 | 情報なし |
| 火災時の特定危険有害性 | 情報なし |
| 特定の消火方法 | 一般火災と同じ方法を用いて差し支えない。 |
| 消火を行なう者の保護 | 消火作業では、耐熱手袋、眼鏡、空気呼吸器等の状況に応じた保護具を着用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 掃き取り、回収又は廃棄する。 |
| 環境に対する注意事項 | 排水系などの水面へ漏出した場合は、魚類、鳥類等への悪影響があるので全て回収すること。 |
| 回収、中和 | 漏出したものを掃き集めて回収する。 |
| 二次災害の防止策 | 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-------------|---|
| 取扱い | |
| ・ 技術的対策 | 常温では引火のおそれは無いが、作業場では火気をみだりに使用することを避け、整理整頓に努める。 |
| ・ 局所排気、全体換気 | 特になし |
| ・ 安全取扱い注意事項 | 運搬及び機械にセット時は落下させたり、急な持ち上げ動作をしない。(打撲、腰痛) サイド面を手で強くしごいたり、摩擦しない。(切り傷) |
| ・ 接触回避 | 特になし |
| 保管 | |
| ・ 技術的対策 | 製品を段積みする場合は荷崩れに注意する。 |
| ・ 混触禁止物質 | 特になし |
| ・ 保管条件 | 直射日光の当たらない冷暗所に保管する。 これで梱包された梱包物は5 0℃～- 2 0℃の雰囲気温度で流通、保管する。 |
| ・ 容器包装材料 | 特になし |

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|-------------|----------------|
| 設備対策 | 特になし |
| 管理濃度 | 設定されていない |
| 許容濃度 | 設定されていない |
| 保護具 | |
| ・呼吸器用の保護具 | 必要に応じ保護具を着用する。 |
| ・手の保護具 | 必要に応じ軍手等を着用する。 |
| ・目の保護具 | 必要に応じ保護具を着用する。 |
| ・皮膚及び身体の保護具 | 必要に応じ保護具を着用する。 |
| 適切な衛生対策 | 作業後は手をよく洗う。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------------|--------------------|
| 物理的状态 | |
| ・形状 | テープ状 |
| ・色 | |
| ・臭い | 無臭 |
| ・pH | 測定不可 |
| 物理学的状態が変化する特定の温度／温度範囲 | |
| ・融点、凝固点 | 168°C |
| ・沸点、初留点及び沸騰範囲 | 知見なし |
| ・引火点 | 知見なし |
| ・燃焼又は爆発範囲 | 上限：情報なし 下限：情報なし |
| ・蒸気圧 | 知見なし |
| ・蒸気密度 | 知見なし |
| ・比重（密度） | 0.91 |
| ・溶解度 | 水に不溶 |
| ・n-オクタノール／水分配係数 | 知見なし |
| ・自然発火温度 | 440°C |
| ・分解温度 | 知見なし |
| ・臭いの閾値 | 知見なし |
| ・蒸発速度 | 知見なし |
| ・燃焼性（固体、ガス） | 知見なし |
| ・その他のデータ | 特になし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-----------|--------------------|
| 安定性 | 一般的な貯蔵、取扱いにおいては安定。 |
| 危険有害反応可能性 | 自己反応性はない。 |

| | |
|------------|------|
| 避けるべき条件 | 特になし |
| 混触危険物質 | 特になし |
| 危険有害な分解生成物 | 特になし |

11. 有害性情報

| | |
|-------------------|------------------------|
| 急性毒性（経口） | 知見なし |
| 急性毒性（経皮） | 知見なし |
| 急性毒性（吸入・ガス） | 知見なし |
| 急性毒性（吸入・蒸気） | 知見なし |
| 急性毒性（吸入・粉じん、ミスト） | 知見なし |
| 皮膚腐食性・刺激性 | 知見なし |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 知見なし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 知見なし |
| 生殖細胞変異原性 | 知見なし |
| 発がん性 | IARC：グループ3（ポリプロピレンとして） |
| 生殖毒性 | 知見なし |
| 特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） | 知見なし |
| 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） | 知見なし |
| 吸引性呼吸器有害性 | 知見なし |

12. 環境影響情報

| | |
|---------|--|
| 生態毒性 | データなし |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生態蓄積性 | データなし |
| 土壌中の移動性 | データなし |
| 他の有害影響 | 海洋生物、鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。 |

13. 廃棄上の注意

- ・埋め立てるときは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って公認の産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはその団体に委託し処理する。
- ・焼却するときには焼却設備を用い大気汚染防止条例等の諸法例に適合した処理を施して焼却する。

14. 輸送上の注意

- ・梱包材が破れないように、水漏れや乱暴な取扱いをさける。
- ・火気、高温の物体をさける。

15. 適用法令

消防法

指定可燃物 合成樹脂類(指定数量 3,000kg)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 産業廃棄物、廃プラスチック類

16. その他の情報

- ・この安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の手配を前提としたものです。
- ・本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改定されることがあります。